

大気環境学会誌の電子ジャーナル化 について

(公社)大気環境学会会長 大原 利眞

- ✓ 現在、「大気環境学会誌」は冊子体(印刷物)で発行し、掲載論文等については発行の約2ヶ月後にJ-STAGEにてオンライン公開
- ✓ 昨今のインターネットおよびペーパーレス化の普及による会員の利便性向上と、学会の財政状況改善のため、第54巻1号(2019年1月発行)より冊子体を廃止し、オンライン公開のみ
- ✓ 会員各位のご理解をお願いいたします。

1

1. 電子ジャーナルとは

- 論文等をPDFなどの形式に電子化し、インターネット上で配布されるもの
- 大気環境学会誌の論文等はすでにJ-STAGEで公開されているが、電子ジャーナル化後はJ-STAGEでの公開のみ

2. 電子ジャーナルの発行のタイミング

- 当面は、現行の冊子体と同じく年6回、原則として奇数月の10日に発行(J-STAGEで公開)

3. 電子ジャーナルに掲載される記事

- 現行のJ-STAGEと同様に、研究論文、総説、入門講座、解説等を想定
- 冊子体に掲載されているがJ-STAGEでは公開されない記事(会告、支部・分科会だより等、書評など)は、メールマガジンや学会ホームページなどを活用した告知を検討中

2

4. 電子ジャーナルの公開

- 会員、非会員の区別なく、どなたでも無料で利用可
- 発行と同時に公開

5. 印刷物の廃止

- 電子ジャーナル化とともに、冊子体(印刷物)は廃止
- 印刷物等を希望する会員等には、対応する方向で検討中

6. 投稿規程の改定

- 電子ジャーナル化に合わせて投稿規程を改訂。(具体的には、カラー印刷に係わる箇所)

3

7. スケジュール(予定)

- 2018年6月:理事会において、電子ジャーナル化を含む平成30年度事業計画・予算の承認
- 2018年9月:総会において、電子ジャーナル化を含む平成30年度事業計画・予算の報告
- 2019年1月:第54巻1号発行、電子ジャーナルへの完全移行

4